

東大阪市 議会だより



No. 169

議会だより編集委員会 東大阪市荒本北1丁目1番1号

平成23年7月15日発行 電話06(4309)3294 FAX06(4309)3868 <http://higashiosaka.gijiroku.com/gikai/>

議案の会派態度表(第2回定例会)(○賛成 ×反対)

議案名	民主党東大阪	さきがけ	民主リベラル市政会	民主さわやかな風	自由民主党	共産党	真正議員団	公明党
平成23年度東大阪市一般会計予算組替え(共産党)	×	×	×	×	×	×	×	×
平成23年度東大阪市一般会計予算修正案(真正議員団・民主さわやかな風・民主リベラル市政会)	×	×	○	○	×	○	○	○
平成23年度東大阪市一般会計予算修正部分を除く原案	○	○	○	○	○	×	○	○
平成23年度東大阪市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度東大阪市水道事業会計・病院事業会計等6会計7予算 報告2件・財産取得・損害賠償2件・東大阪市の条例の一部を改正する条例制定 長瀬川沿岸下水道組合規約の一部変更に関する協定 職員定数条例及び職員の育児休業に関する条例の一部改正条例の閉会中継続審査 子どもの医療費助成制度の拡充と改善・子どもの育ちを保障する環境の整備を求める請願の閉会中継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○

第2回定例会

— 6月14日～6月30日 —

本年三月議会に、市長は平成二十三年度の東大阪市の進める事業と予算を提案され、議会は審議に入りましたが、いつものことながら要求した資料が出ない、質問に的確な答弁ができないことから混乱しました。

また、下水道工事の入札に伴う奥島副市長の公文書の「改ざん」「隠ぺい」「虚偽の答弁」の疑いが表面化し、議会はその副市長の責任を問うため問責決議を可決しました。

六月議会混迷するも予算を修正可決し、市民生活への支障を止(と)める
 修正案は自由民主党(七名)、さきがけ(二名)、民主党東大阪(一名)を除く全会派(三十五名)賛成

加えて重大な課題であった十二項目の課題、例えば取り過ぎた保険料(介護分)を全額返還することはよいが、返還の財源を市民にシワ寄せしてはいけないことから、さらに審議が紛糾しました。このままでは市民生活に大きな支障をきたすことから、やむをえず四月から当面三カ月間の暫定予算を決めました。

その後、市長は六月十四日に議会を招集しましたが、三月議会から引き継がれている奥島副市長の問責決議や取り過ぎた保険料の財源問題など十二項目の解決策を一切示さず、七月以降の予算を審議してほしいと提案してきました。

議に入れない委員会があり、六月二十八日の最終日に二日間会期を延長しました。なお、その時点で三つの委員会が採決できる状況ではありません。

このため議長は正式な議案として取り扱い、六月二十八日に提案して委員会へ付託し審議を行いました。

奥島副市長の入札の疑惑の問題と取り過ぎた保険料の財源が市民生活に支障をきたすことは問題であり引き続き審議することになります。

討論
 公明党

平成二十三年度東大阪一般会計予算の修正案に賛成する

修正案は、災害時の基幹道路の確保に一億円、クラブ活動補助に六百三十万円などを増額しました。

今定例会に提出された平成二十三年度東大阪一般会計予算原案は、本年十月に市議会選挙及び市長選挙が実施されることを勘案し、骨格予算を基本としながら、市民の安全安心などの観点から必要な予算を盛り込み、限られた財源の中で実施可能な範囲を考えた内容を盛り込んだ予算であり、現下の厳しい社会経済情勢から、市民の血税による財源を行政がいかに効率よく執行し、市民に安全安心を届けることができるかが重要であると考える。

議会としては、三月議会の流れから審議には入れないので、市長の提案した議案は異例のみなし議案として十二項目の課題と奥島副市長の問責決議をあわせて審議することにしました。

市内へ避難している被災者支援や、耐震改修促進経費の拡充、震災復興支援のための職員派遣経費など、東日本大震災に関する施策への組み替え、また、保育所や新療育センターの整備、介護保険サービスの保障や

議案は認められない」と審議するにしました。

(次頁へつづく)